

# 資源評価調査委託事業 Ⅱ 漁場一斉調査

漁業資源課 伊與田 慎右

## 1 目的

土佐湾周辺海域に出現する流れ藻の状況、流れ藻に付着するモジャコの出現状況、サイズ組成等を把握し、ブリ資源の動向把握及びモジャコ漁業の効率的な操業に資する。

曳網を用いた採集調査は2009(平成21)年から毎年継続しており、本報告では2020(令和2)年の実績を報告する。

## 2 方法

### (1) 調査期間

前年までと同様に毎月の定線調査の際に実施した(定線の位置は図1参照。5月は土佐湾定線及び室戸東定線のみ)。各月の調査期間は以下のとおりであった。なお、3月の調査は前年度(2019年度)事業に含まれる。

3月調査・・・2020年3月12～19日

4月調査・・・2020年4月6～12日

5月調査・・・2020年5月7～12日

### (2) 調査船

漁業指導調査船「土佐海洋丸」80トン

### (3) 採集漁具

曳網(目合:6本30節)

### (4) 調査手順

- ・目視により流れ藻を探索し、視認点の緯度経度、水温、流れ藻数を記録。
- ・1日当たり5個程度を目安に流れ藻を採集し、流れ藻重量、モジャコ付着尾数を記録。
- ・帰港後、モジャコの尾叉長を測定、流れ藻の種を同定。

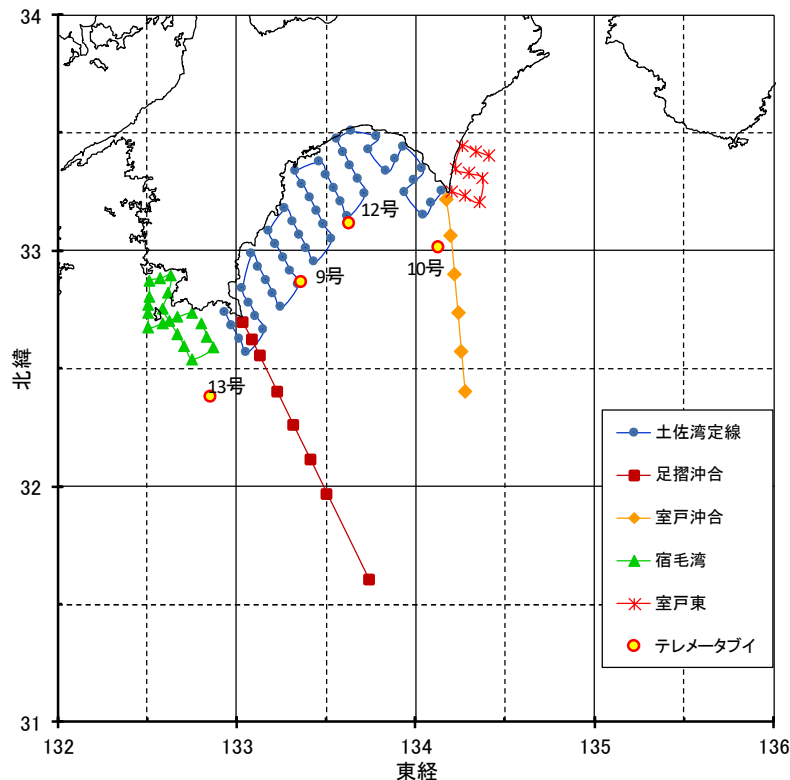


図1 定線図

### 3 結果

#### (1) 流れ藻数

月別の流れ藻視認点数は表1のとおりです。

3月は前年及び平年（2009年～2018年の平均値）を下回った。主な視認海域は土佐湾沖合から室戸岬沖合で、沿岸域での視認はわずかであった。

4月も前年及び平年を下回ったものの、沿岸・沖合を問わず幅広い地点で流れ藻が視認された。

5月は前年を下回ったが、平年は上回り、沿岸の幅広い地点で流れ藻が視認された。

表1 月別の流れ藻視認点数

	2020年	前年	平年
3月	18	33	71
4月	52	187	64
5月	99	156	43

#### (2) モジャコ付着尾数

月別の流れ藻1個当たりのモジャコ平均付着尾数は表2のとおりです。

3月は前年及び平年を大きく上回った。4月は前年を上回り、平年並であった。5月は前年及び平年を下回った。3月から4月は流れ藻が非常に少なく、モジャコの流れ藻への付着が集中したが、5月は流れ藻が多く、付着が分散したためと考えられる。

表2 月別のモジャコ平均付着尾数

	2020年	前年	平年
3月	103尾	20尾	17尾
4月	29尾	9尾	30尾
5月	7尾	11尾	33尾

#### (3) モジャコ尾又長組成

3月：3.5～6.4cmのサイズが多かった。

4月：2.0～10.0cm以上まで幅広く、7.0～8.0cmと10.0cmにピークが見られた。

5月：1.5～10.0cm以上まで幅広く、3.0cm前後と10.0cmにピークが見られた。

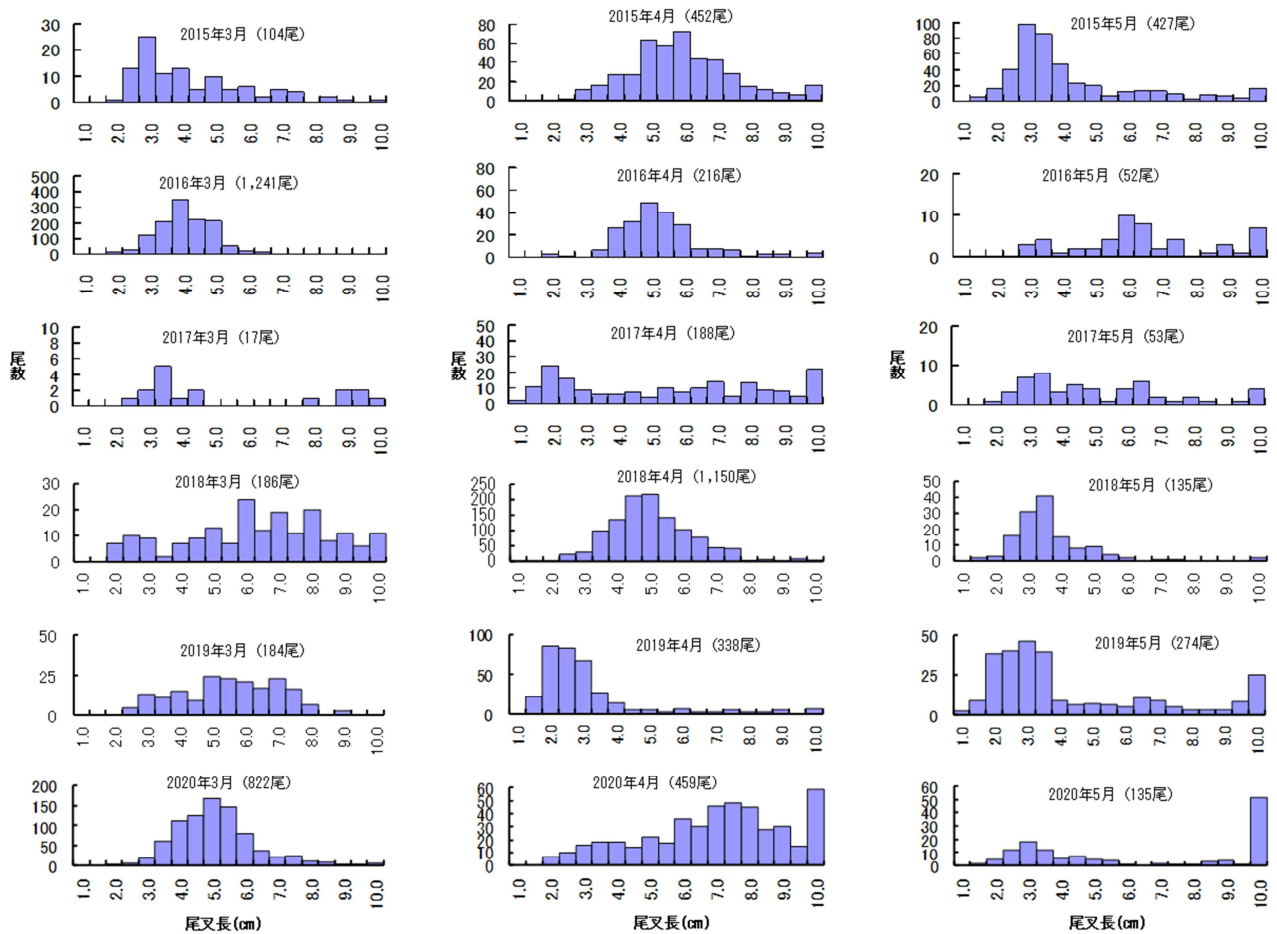


図2 採捕したモジャコの月別尾叉長組成

#### (4) 流れ藻の構成種

3月：ほとんどがアカモクで、わずかにヨレモクモドキが見られた。

4月：ほとんどがアカモクで、わずかにヨレモクモドキ、オオバノコギリモクが見られた。

5月：アカモク主体で、わずかにヤツマタモクが見られた。